

科目名		義肢装具学実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択	必修

## 〔授業の目的・ねらい〕

実際に装具の採型、フットプリント、ソフトドレッシングなどを行いより理解を深める。  
 実際の義肢装具に触れ試歩行を行い、知識の習得を目指す。  
 企業見学により、実際の製作場面から理解を深めるとともに、義肢装具に関連する福祉用具全般の理解も深める。

## 〔授業全体の内容の概要〕

「義肢装具学・実習」として、前半は義肢学を中心に義肢を種類別に学ぶ。後半は部位別・疾患別に対応する装具の知識を深める。講義で学んだ知識を深めるため、実習では臨床に則した内容を行う。

## 〔講師の実務経験〕

## 〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

- ・基本的な義肢装具の名称と機能を理解する。
- ・国家試験に対する義肢装具の基礎知識を理解する。
- ・実際の製作を見学し理解を深める

回数	講義内容
1	①装具総論1
2	②装具総論2
3	③体幹装具総論
4	④体幹装具各論
5	⑤上肢装具総論
6	⑥上肢装具各論
7	⑦下肢装具総論
8	⑧下肢装具の構成
9	⑨下肢装具採型実習
10	⑩膝関節疾患に対する装具療法
11	⑪骨折の装具療法
12	⑫小児疾患
13	⑬対麻痺の長下肢装具
14	⑭足底装具靴型装具について
15	⑮フットプリント実習
	定期筆記試験

## 【 準備学習・時間外学習 】

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
義肢装具のチェックポイント		

## 【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

小テスト、最終テストを総合的に判定し、成績とする。